



Time:15:30時点

※前回報：9月6日報 Vol:22

統括部 企画統括課

今週のTOPIC

米国労働省は8月CPI(消費者物価指数)を予測上回る前年同月比8.3%上昇と発表

■ [9月CP] プロパン：\$650 (前月比▲\$20)、ブタン：\$630 (前月比▲\$30) ■ [8月MB平均]：\$572 (前月比▲\$25)

エネルギー市場

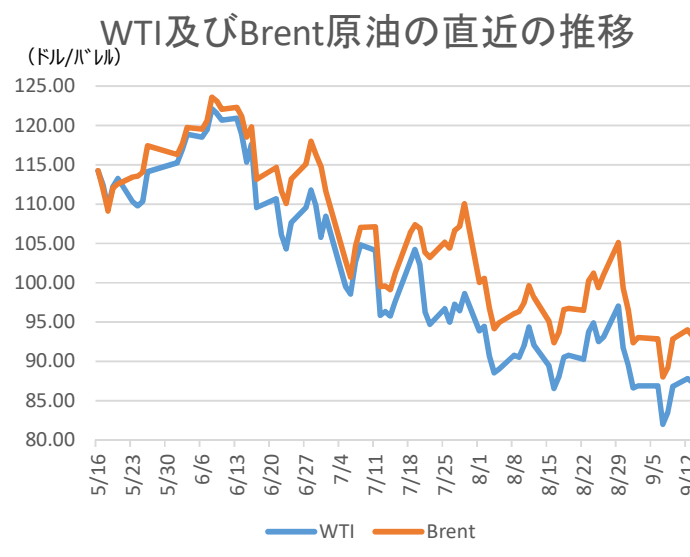
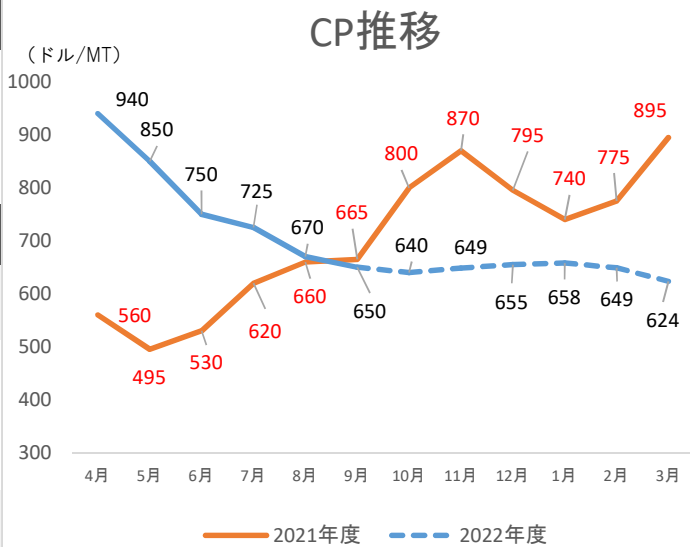
原油 先物 (USD/BBL)	今回	前回	前回比
NY/WTI (10月)	85.10	86.61	▲1.51
北海Brent (11月)	90.84	92.36	▲1.52

LPガス 先物 (USD/MT)	AL熱量換算比			
プロパン予想値	今回	前回比	今回	前回比
CP 10月	640	▲14	80%	+3%
MB 9月	550	▲42		

プロパン	11月	12月	1月	2月	3月
CP先物	640	649	655	658	649
プロパン	10月	11月	12月	1月	2月
MB見通し	542	541	540	537	514

外航フレート (USD/MT)	9/16時点	※前回	前回比		
中東-日本	69.0	63.5	+ 5.5		
米国-日本 (パナマ運河経由)	118.5	108.5	+10.0		
為替/TTS	9月予測	8月	7月	6月	
USD/円	20日	141.58	135.83	137.42	132.08
	末日	143.59	136.24	137.79	134.93

LPG元売り10月改定幅予測値 (円/t)	プロパン	ブタン
ジャパンガスエナジー	改定レンジ： +1,800~+2,400	+500~+1,100
ENEOSグローブ	改定レンジ： +2,000~+2,600	+300~+ 900
アストモスエネルギー	改定レンジ： +2,100~+2,700	+400~+1,000
ジクシス	改定レンジ： +2,000~+2,600	+300~+ 900



マーケット概況			今回	※前回	前回比	今回	※前回	前回比
NYダウ (US \$)	30,822.42	31,318.44	▲496.02	TOPIX (円)	1,938.56	1,930.17	+8.39	
S&P500 (US \$)	3,873.33	3,924.26	▲50.93	金 (Gold) 先物 (US \$)	1,684.50	1,722.60	▲38.10	
米国債券10年利回り (%)	3.455	3.195	+0.260	VIX恐怖指数 (%)	26.30	25.47	+0.83	
日経平均 (円)	27,567.65	27,650.84	▲83.19					

今週のTOPIC

米国労働省は8月CPI(消費者物価指数)を予測上回る前年同月比8.3%上昇と発表

原油概況

★欧米追加利上げ観測と中国のゼロコロナ政策による経済停滞で下げ基調継続

影響度

強気・
上昇要因



- ① O P E C プラスは10月から日量10万バレル減産することで合意
- ② ロシアは、欧米が輸出価格に上限価格設定するならば供給停止を表明
- ③ O P E C は今年の石油需要増加幅を日量310万バレルと横ばいで予測

弱気・
下降要因



- ① 中国の8月石油精製量は前年比6.5%減少し約2年ぶりの低水準
- ② 米国CPI8月実績が予想を上回り追加利上げ警戒感が原油安に連鎖
- ③ 2022年中国石油需要はゼロコロナ政策背景に20年ぶり減少の可能性

LPガス概況

★供給過多と中国需要低迷により10月以降もCPは\$600台半ばの予測

(弱気)

- ① 中国広東省、四川省中心にコロナ対策ロックダウン実施で需要低迷
- ② 中国、韓国石油化学プラント向け需要低迷により供給に余剰感
- ③ 米国プロパン在庫は生産増と輸出減少で前週比16万トン増加

「米国CPI(米国消費者物価指数)とは」

- ・米国内物価上昇及び下降を表す経済指数、衣料や食料品など約200品目の価格変化を調査し米国労働省が公表している米国民生活水準を表す指標の一つです。
- ・米国CPIが米国連邦準備理事会の設定する上限ラインを超えると、将来のインフレを警戒し利上げが行われる可能性が強くなります。
- ・米国の利上げは世界的な株価下落、為替のドル高(円安)、原油価格下落などに影響する可能性があります。